

■子ども実行委員会による企画・運営で主体性のある老西っ子を育成 (老上西学区まちづくり協議会子ども育成部会 ：地域協働合校推進委員会協働事業)

1 【活動の趣旨】

子どもの主体性を育むことを念頭に、どのような活動をするのかは「子ども実行委員会」の子どもたちが企画し運営していく。

2 【特徴的な活動内容】

○「わくわくキッズ実行委員会」

子どもたちにより「何を」「どこで」「どんな内容で」したいか意見を出し合い、活動をすすめていく、子ども主体の運営に取り組んだ。

今年度は6回開催し、活動のネーミングを決定、年間の活動を企画し、運営方法まで話し合った。

○「デイキャンプ」

子ども実行委員会で決めた内容（流しそうめん・スイカ割り・おにぎり作り）をまちづくりセンター・小学校・ふれあい広場にて実施した。

子ども実行委員が中心になり、テントの設営・流しそうめん（割竹）の設置や、材料の調理・スイカ割りの準備、運営をし、集団活動のルールの重要性を理解のうえ片づけまで実行委員が行った。

また、保護者や地域のサポーターに声掛けし協力をいただいた。子どもたちがそれぞれの役割を果たす体験ができ子ども同士の協調性を深めた。

実施日 7月13日（土）

○「宿泊体験」滋賀県立びわ湖こどもの国（高島市）

子ども実行委員と小学校児童を対象に、県立びわ湖こどもの国を利用して宿泊生活を体験した。

1日目は高島市針江町の「生水の郷」を地域のお年寄りの方々に「川端と水辺の暮らし」について説明していただき、湧水と生活のようすについて学んだ。

午後は、びわ湖こどもの国の湖岸の清掃活動をして10袋のごみを持ち帰った。

2日目は団旗の制作や屋外活動で絆を深めた。

実施日 9月21日（土）～22日（日）

3 【実施に当たっての工夫】

すべての活動で、子ども実行委員会の企画・運営方法を中心に実施した。

4 【事業の成果】

子ども実行委員の自主性・主体性が活動から多くみられ、協力者からも様々な事業で子どもが主体的に取り組むことで達成感が得られていたとの意見があった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

子どもにより事業を展開することで、子どもたちの主体性が感じられた1年であった。引き続き地域へ協力を呼びかけ協働活動を進めていきたい。



【子ども実行委員会】



【子ども企画運営
流しそうめん】



【宿泊体験で清掃活動】